全国学童保育連絡協議会

日本の学童ほいく 普及拡大ニュース

みんなで読もう！ 目標 3万6000部

子どもを学童保育に通わせる保護者と、子どもたちといっしょに毎日過ごしている指導員が書き手となり、働きながらの子育てを応援し、学童保育の充実の願いをこめてつくられている月刊誌です。みんなで読んで、語って、楽しみながら、よりよい学童保育をつくっていきましょう。

2022年7月13日

元気が出るみんなの取り組みをご紹介

楽しく普及拡大

めざせ新規購読者の拡大！
学習会への活用を紹介！
モニター登録のすすめ！

三重県の取り組み

「ほいく誌」の普及拡大を方針に……４つの取り組み！

三重県学童保育連絡協議会では、３年前から方針の中で特に重点項目を掲げ、その一つ、「県内の『日本の学童ほいく』誌の購読数が増えるよう、地域に呼びかけるとともに、活用方法なども紹介し、県内月間購読数 1,500 部を目指します」とし、普及拡大に取り組んでいます。具体的には、

① あらゆる機会をとらえて購読を呼びかけ、新規購読者拡大のための取り扱い窓口を設置し、県内の月間購読数 1,500 部を目指します。

② 役員会、指導員会、父母会（保護者会）での記事の読み合わせなど、学習会などでの活用方法を紹介していきます。

③ モニターの登録をすすめます。特に連絡協議会のある地域には、最低２名（保護者１名、指導員１名）の登録を呼びかけます。

④ ほいく誌の企画、『日本の学童ほいく』編集部からの原稿依頼について積極的に協力します。

今年度からの新しい試みとしては、担当者を決めて取り扱い窓口を設置します。

「読もうよ！　ほいく誌！　めっちゃいいでぇ～」

県連協では、地域連協の協力のもと、発注や支払いなどをおこなっています。「コロナ禍により研修が減り、直接渡すことが大変」また「近くの本屋さんで取り寄せている」といった声も届き、県連協としての取り組みに新しい切り口を！　という発想から、発注冊数の少ないところを県連協で取りまとめ、発送・集金業務を担うことにしました。そこから発信できることもあるのでは、と考えています。

コロナ禍ではあるものの、オンラインの活用などが、ほいく誌のさらなる活性化になればと思います。父母会（保護者会）も少しずつ開かれるようになり、今こそ「ほいく誌」を活用して個々の学童保育や、行政への働きがけなど、これまで大事にしてきたことを丁寧に!!　を忘れずに伝えていくことに、コツコツ取り組めたらと思っています。

日本の学童ほいく７月号

特集 「あしたも いっしょに あそぼうね！」── 子どもと遊び

今回の特集では、学童保育で子どもたちが遊びを楽しむ様子、指導員の遊びへの関わりを交流し、「子どもにとっての遊び」について、あらためて考えあいます。あわせて、コロナ禍のいま、子どもの遊び・生活を支えるうえで、大切にしたい視点について学びあいます。

日本の学童ほいく
みんなで読もう目標3万6000部
子どもを学童保育に通わせる保護者と、子どもたちといっしょに毎日過ごしている指導員が書き手となり、働きながらの子育てを応援し、学童保育の充実の願いをこめてつくられている月刊誌です。

全国学童保育連絡協議会
普及拡大ニュース
2022年7月13日

読者の声

滋賀県栗東市●保護者から

2021年11月号に掲載された青木純子さんの「出会い集い父母会」の記事「保護者として学童保育にできること」を読みました。私も学童保育は「働く保護者が子どもを預ける場所」と思っています。しかしその後に記されていた、「子どもがほとんどの時間、長い時間を過ごす場所……」という文章を読み、「私は親目線でしか考えられていないのかもしれないな」とも思いました。これまでは、「子どもが安全に、ある程度、楽しく過ごせる場であればいい」と思っていましたが、家庭や学校以外で長く過ごす場所である学童保育。それは、保護者が働いているから通っている場所であるという事実を見ていなかったように思います。学童保育での時間が、子どもにとって楽しく有意義なものとなり、成長の場であれるように、保護者の私も当事者意識を持ちつづけなければならないと感じました。

（『日本の学童ほいく』2022年5月号「読者のひろば」より）

石川県金沢市●保護者から

1月末に三女を出産しました。わが家では3人目の子どもということもあり、授乳、オムツ替え、沐浴など、手際よく進めている私に、小学1年生の長女が「これからなにするか、ちゃんと声かけてからやってあげんとびっくりするよ！」と。たしかに、不安のなか、必死に子育てをした長女のときに比べると、慣れから大切なことを忘れていた！　と気づかされました。同時に、そんなアドバイスをしてくれた長女の成長とやさしさがとてもうれしく思えました。

（『日本の学童ほいく』2022年6月号「読者のひろば」より）

私と「ほ・い・く・誌」

読者リレー執筆・今月は高知県四万十町から指導員の長谷部菜穂子さん

私は、21年前にこの小さな町に学童保育ができた当初から指導員をしています。高知県は、北は四国山脈、南は太平洋と言えば聞こえはいいのですが、私には四国の他の三県は遠く、まして全国なんて……。そんな私にとって、〝ほいく誌〟は全国の皆さんとつながることのできる大事なものです。そして自分ひとりで読むだけではなく、職場内の研修で活用したり、県内の仲間とオンラインで読み合わせもしています。

「へェ～そうながや」「そうそう、うちでもそう」と感心したり、うなずいたり。話がどんどん広がっていきます。慌ただしく過ぎていく毎日を見つめ直す機会となり、また新しい知識や情報を得ることができています。

私は、現在こうち学童保育ネットワークの役員をしておりますが、活動はまだまだ手探り状態です。そのうちの一つ、県内のまだ会員になっていないところへアピールをすべく、発行しているニュースや入会のお知らせの他に、〝ほいく誌〟のチラシと見本誌をお送りする予定です。それぞれの学童保育が抱える悩みや困りごとをみんなで共有し、前進できることを願っています。

編集・発行　全国学童保育連絡協議会　〒113-0033 東京都文京区本郷2-26-13　TEL●03-3813-0477　FAX●03-3813-0765
E-mail●zghrk@xui.biglobe.ne.jp　http://www2s.biglobe.ne.jp/~Gakudou